

懐かしの JR「我孫子町駅」

先にレポートした大阪市立「大空小学校」から JR 阪和線「我孫子町駅」まですぐだ。この近くに遠い昔、住んでいたことがある。

当時は高架ではなく、地上に線路と小さな駅があった。駅からは「あびこちょうー」という駅員のアナウンスが聞こえてきた。駅アナウンスの物まねを宴会の席でしつこく披露したが、「もう、(やめ)えんかい」といった声が聞こえてきそうだった。踏切で長く待たされたことも覚えている。いまから 10 年ほど前に高架になった。



大阪市立大学の大学院博士課程に進学し、結婚した頃である。まだ若かった。今回、大空小学校を訪ねたのは、そんな懐かしさに駆られたこともある。信州・松本から親の反対を押し切って大阪に出てきて、とにかく大学の周辺に住んだ。杉本町の古い住宅の「土蔵」のようなところ。なくなってしまったが懐かしい。下宿のおばさんにお世話になった。いまでも忘れられないのが、大学院入試に失敗したとき、一緒に泣き、励ましてくれたことだ。「下宿のおばちゃん」には本当に感謝している。



大学院生で就職もしていないのに、結婚して移り住んだのが、「我孫子町駅」前のマンションだ。いわゆる「学生結婚」だが、先輩や同世代にも多かったと思う。妻の稼ぎと私のアルバイト、そして奨学金での「やりくり」。大学院時代の奨学金は、貴重な収入源であった。これなくしてアルバイトに振り回され、研究に集中できなかつただろう。当時は就職すると「返還免除」という制度があり、これにも助けられた。



アルバイトは塾と家庭教師。ここから兵庫県の夙川、奈良県の学園前、東淀川、堺あたりまで「通勤」した。辛いことも多々あったが、家庭教師先では夕飯をご馳走になるなど、いろいろお世話になった。

新居のマンションは駅前の不動産屋さんの紹介で見つけた。大学に近く、妻の通勤や買い物にも便利だった。黄色のマンション 2 階が、わが新婚時代の「スイート・ルーム」。1 階はイタリアンレストランになっているが、当時は「八百」という中華料理屋さん。「ウソ八百」ではない。中華料理の匂いが部屋まで届いてきた。近くには「大衆酒場」もあり、つい誘惑に負けたものだ。ここから数分で「あびこ観音」、その先に地下鉄・御堂筋線「あびこ駅」がある。

(2016 年 12 月 25 日)